

10月の乳幼児の健康診査

*該当月に受けられない場合は、子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	29年6月1日～21日生まれ	25㊦	12:45～13:00	一関保健センター
		29年6月22日～30日生まれ	26㊦		
	9～10カ月児相談	28年12月1日～14日生まれ	25㊦	8:45～ 9:00	
		28年12月15日～31日生まれ	26㊦		
	1歳6カ月児健診	28年3月1日～17日生まれ	12㊦	12:45～13:00	
		28年3月18日～31日生まれ	13㊦		
2歳6カ月児歯科健診	27年4月1日～13日生まれ	12㊦	8:45～ 9:00		
	27年4月14日～30日生まれ	13㊦			
3歳児健診	26年4月1日～13日生まれ	5㊦	12:45～13:00		
	26年4月14日～30日生まれ	6㊦			
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	29年6月生まれ	17㊦	12:45～13:00	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	28年12月生まれ	10㊦	9:00～ 9:15	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	28年3月生まれ	12㊦	12:45～13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	27年4月生まれ	10㊦		
	3歳児健診	26年4月生まれ	11㊦		

*きょうだいなどの同伴で手伝いが必要な人は、託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

☎子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

Information

ふれあいひろば

◇日時…月・火・木 9:30～15:30、水・金

13:30～15:30（水を除く）

◇場所…一関保健センター

☎一関子育て支援センター ☎21470

第2回いわて自死遺族フォーラムIN一関

◇日時…10月7日㊦13:30～16:30

◇場所…川崎市民センター

◇内容…【第1部】講演「傷ついたら、苦しみに寄り添いについて」精神科医・蟻塚亮二氏【第2部】パネルディスカッション①遺族の活動紹介 ②遺族からのメッセージ「愛する人を亡くし、今、伝えたいこと」

◇申し込み…不要

☎一関保健所 ☎261415

保健所の10月の検査など

【①骨髄バンクドナー登録と②血液等検査】

◇日時…10月10日㊦ *時間は①9:00～9:30

②10:30～11:50

◇場所・費用…一関保健所・無料

◇申し込み…前日12:00までに予約 *②の検査種類はHIV、肝炎、クラミジア、梅毒

【医師によるこころの健康相談】

◇日時・場所…10月5日㊦13:30～15:30・一関保健所

◇申し込み…4日㊦12:00までに要予約

☎一関保健所 ☎261415

医療と介護の窓

～みんなで守ろう地域医療～

文・岩手県立千厩病院

高齢者を地域で支える医療の提供を

県立千厩病院は、28年10月から「地域包括ケア病床」の運用を開始しました。

地域包括ケア病床は、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを一体的に提供する地域包括ケアシステム（県や市が中心となり構築を支援）の中で、医療の役割を担う病床として期待されています。高齢者などが住み慣れた地域で、安心して生き生きと自分らしい暮らしができるよう、サポートする取り組みの一環です。他地域と比較して、より高齢化が進んでいる当地域において、地域のニーズにあった病床と捉えています。

地域包括ケア病床は、症状の改善だけでなく、その人の機能

回復の状態にあわせて、家族のサポートや地域サービスを勘案しながら自宅で暮らせるまでをゴールとしています。具体的には、自宅で過ごすために必要な排せつ、着替え、入浴や食事などの日常生活訓練と、必要に応じて機能回復のためのリハビリテーション、試験外泊、介護サービスの利用や自宅環境整備に関するアドバイスなどを行っています。

地域包括ケア病床を地域の中で効果的に機能を発揮させていくためには、病院だけではなく、自宅での生活などを支援する医療・介護福祉関係職員などの役割が重要です。院外の関係機関などの職員とも日頃から連携を図るよう心掛けています。

☎健康づくり課（一関保健センター内）

愛姫（めぐひめ）を通じた交流の絆
姉妹都市の三春町民が一関を訪問

「三春町長と行く 愛姫ゆかりの地めぐりin一関」は9月14、15日の両日に行われ、福島県三春町から鈴木義孝町長ほか24人が本市を訪れました。伊達正宗の正室であった愛姫の遺言により、三春田村家が一関藩に所替えたことが縁でつながった本市と三春町。姉妹都市を締結して、今年で30年を迎えます。

参加者は田村家の菩提寺である祥雲寺、祈願寺であった長昌寺を訪れたほか、市博物館などを見学。愛姫を通じた両市町の絆を再確認していました。参加者の幕田勝浩さん(50)は「一関市内のお寺を見学したのは初めて。またゆつくり訪れたいです」と話していました。



平泉町で「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」
延べ1600人ががんを負けない社会を願う

今年で6回目となる「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017いわて」（日本対がん協会、同実行委主催）は9月2、3日の両日、平泉町の観自在王院跡で開かれ、44団体、延べ1,600人ががんを負けない社会の実現を願いました。

がん制圧を目指すがん患者と支援者が24時間交代で歩きながら人と向き合い、勇気と希望を分かち合うチャリティイベント。本市からも大勢の参加者が駆けつけ、励ましのメッセージなどが書かれた横断幕を掲げて歩きました。

阿部喜子吉実行委員長は「がん制圧のために支援の輪がどんどん広がってほしい」と願っていました。

「カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム」を開催
過去の大水害から防災を学ぶ

「カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム」は9月9日、一関文化センターで開かれました。同イベントは、カスリン台風の被害から今年で70年にあたることを機に、これからの水害について考え、防災意識を高めることを目的に開催。

当日は中学生による「土砂災害防止に関する作文」の発表、アイオン台風被災者の体験談、講演やパネルディスカッションを実施。過去の水害の教訓と水害への備えの必要性を伝えました。

竹山町の佐藤峰子さん(84)は「高1のときに、アイオン台風で散乱したがれきの撤去などを行いました。その体験を若い世代に教訓として伝えたい」と話してくれました。



260年の伝統受け継ぐ市の無形民俗文化財
商店街を厳かに練り歩く「金沢大名行列」

金沢大名行列（同実行委主催）は9月10日、花泉町の金沢地区で行われました。内沢集落に祭られていた鎮守八幡宮が焼失し、1757年に遷宮する際、氏子らが大名行列の様式でご神体を守りながら行進したのが行列の始まりといわれています。

ほら貝を先頭に、内沢集落の住民が露払いやっこ、金沢小の児童が鉄砲隊などに扮し、総勢約200人が金沢の商店街を厳かに行進。沿道の観客は行列に大きな拍手を送っていました。

宮城県栗原市の菅原新一さん(59)は「友人から聞いていたとおりの迫力。見に来て良かった」と感動していました。